

国際平和デー（2021年9月21日）100日前メッセージ

9月21日の「国際平和デー」まで残り100日となりました。

「国際平和デー」は、全ての国と人々が世界恒久平和の実現への決意を表すとともに、平和の大切さや尊さを考える重要な一日です。改めて、この「国際平和デー」を強く押し進めておられるアントニオ・グテーレス国連事務総長のリーダーシップに心から敬意を表します。

世界恒久平和への道筋として「核兵器のない世界の実現」と「安全で活力のある都市の実現」という二つの目標を掲げ、取り組んでいる平和首長会議では、「国際平和デー」の理念に賛同し、これまでも記念行事を開催するとともに世界各地の加盟都市に記念行事の開催を呼び掛けてきました。

今年も、165か国・地域の8,031の加盟都市に対して、広島・長崎に原爆が投下された日である8月6日から9日までの間のいずれかの日及び9月21日の「国際平和デー」に市民一人ひとりが平和への願いを共有し、その実現を祈念する取組を行っていただくよう呼び掛けます。

世界は今、新型コロナウイルス感染症に対して「連帯」し「協働」することで、その脅威に対応できることを実体験しています。このことを踏まえると、人類共通の脅威である核兵器に対しても、廃絶すべき絶対悪であるとの共通認識の下で世界中の人々が「連帯」し「協働」することで、乗り越えられるのではないのでしょうか。

本日から「国際平和デー」までの100日間、加盟都市が心を一つにして平和への願いを結集させ、世界中の市民と共に、核兵器のない平和な世界の実現に向けて協調していきましょう。

2021年6月13日
平和首長会議会長
広島市長 松井 一實